



入会 Web セミナー

<https://vimeo.com/800369447/51331027d1>

開催方法

Vimeo - オンデマンド配信 - **視聴無料!**

申込方法

右記二次元コード(またはURL)よりご視聴ください。※ご視聴後に入会案内があります。

講演内容
約 1 時間

「歯科医から摂食医への転換」理事長 江藤一洋
「令和 3 年度介護保険改定の要点と予防管理型訪問歯科診療の確立」専務理事 生田図南
「厳しい経営状態から訪問歯科診療に出会い急回復した経験談」学術理事 山崎淳史



食べられない 飲み込めない という患者さんが激増しています。
きちんと対応できる**摂食医**を待ち望む患者さんが世にあふれています。



人生の最後まで「食べて飲み込む」を見守るのは 我々歯科医師の大切な職務です!

現在の歯科を取り巻く状況 ▶▶▶ 摂食支援をしっかりと行える歯科医師が全国で圧倒的に不足!

従来の訪問歯科と摂食支援の違いは?

- 歯科医師の仕事: 「食べる機能の評価」「何をどう食べるかを診断」など知識を用いて判断
- 指導や訓練は歯科衛生士が担当 (衛生士の活躍の場が広がり、社会的な高評価につながる)

厚労省による対策

- 摂食支援医育成を大学や歯科医師会に要請
- 保険点数を摂食支援に潤沢に配分
- それでも歯科医師の関心が低く摂食支援医が増えない
- 今年の介護改定で介護施設に対して嘱託歯科医師と連携した摂食支援が義務化 (移行期間 3 年)

対策を講じてはいるが、後期高齢者の数が激増しており
今のペースでは担い手の育成が間に合わない!

開業医にとって摂食支援の介入がむずかしい理由

- 摂食嚥下は窒息や肺炎などのリスクがあり、高いスキルが求められるにもかかわらず座学のためのセミナーが多く、施設で利用者を対象にした実地研修がほとんどない
- 30代半ば以上の先生は大学で機能回復や摂食嚥下指導を学んでいない
- 既に介護施設に他の歯科医院や業者配当の歯科医師が入っている

取り組んでいただくメリット

利用者: 摂食支援で安全に食べることができる。窒息・誤嚥性肺炎の予防
施設: 国が定めた施設基準を満たすことができる。その結果加算が得られる
歯科医院: 診療所への通院可能な人が減っていく中、歯科医師・歯科衛生士の活躍の場が広がる
国の方針に従った診療体系をとることで、保険点数のサポートが十分得られる

摂食支援協会の役割

- 激増する摂食支援ニーズに応えるため、上記の『むずかしい』を乗り越える育成カリキュラムを提供
- 高いスキルを持つ摂食支援医を多く輩出する

カリキュラム

入会 Web セミナー ※当セミナー
基礎的な制度の仕組みを学ぶ

『日本摂食支援協会』に入会

施設連携導入セミナー

施設介入の方法と基礎的事項を学ぶ

摂食支援基礎実習コース

施設での実地研修 (間接訓練)

摂食支援アドバンスコース

施設での実地研修 (直接訓練)

その他、当会会員限定の
セミナーはこちら→→→

<https://www.sesshokushienn.com/activity>

